九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

中国語と日本語の「ほめ」の返答に関する対照研究

王，欣
九州大学大学院地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻

https://doi.org/10.15017/1854781

出版情報：地球社会統合科学研究. 7, pp.1-20, 2017-09-25. 九州大学大学院地球社会統合科学府
バージョン：
権利関係：

『地球社会統合科学研究』７号 １～20
Integrated Sciences for Global Society Studies
No.７ , pp. １～20

中国語と日本語の「ほめ」の返答に関する対照研究

王（オウ）　欣（シン）

１．はじめに

「ほめ」は、人間関係の構築や維持に重要な役割を果たしている言語行動であり、相手との距離を縮め、相手に好感を持たれることで、ほめる側もほめられる側も心地よく会話をスムーズに運ぶ言語行動だと言われている。とりわけ、中国語と日本語の類似点はよく知られており、「ほめ」の場面においても、違いがないのではないかと思われがちである。

しかし、中国語母語話者と日本語母語話者とが接触する実際のコミュニケーションの現場では、ほめる側とほめられる側の解釈が異なり、相手が不愉快に感じ気分を害することで、様々な誤解や摩擦が起こりうる。山路（2006）は、ほめられる側は、ほめる側の主目的を意識しており、「お世辞」、「ごますり」などと解釈された場合には、「ほめ」は、他の意図を含意すると述べている。さらに、異なる言語・文化を持っている会話者に対しては、文化的価値観の相違を意識しないと誤解を招く可能性があるとも述べている。つまり、「ほめ」は、文化や価値観等によって、解釈が異なってくる可能性があり、危険性を伴うものであると考えられ、中国語と日本語の談話における「ほめ」の対照研究を行うことは、両国の文化摩擦を解消するために、意味があることと思われる。

２．先行研究概観および研究課題義

本節では、「ほめ」に関連する中日対照研究と本研究の研究課題を２節に分けて述べていきたい。

２．１　「ほめ」に関連する中日対照研究

先行研究における中日対照研究では、増田（2009）は、談話完成テストを基にし、中国語母語話者と日本語母語話者では、教師の友好的な「ほめ」に対して学生がそのようには捉えない、あるいは、学生の「ほめ」に対する返答に、教師が自身の文化的背景から、友好的に感じられないなどの問題が生じる危険性があると述べている。

このような中国語母語話者と日本語母語話者の「ほめ」行動について、楊（2012）は、中国語母語話者の目上への「ほめ」に焦点を当て、「ほめ」の表現方法や表現形式を分析することで、中国社会において、人間関係を構築、維持、改善するために、「上下関係」より「親疎関係」および「利害関係」のほうに注目される傾向があると述べた。

中日接触場面において、袁（2012）は、中国人日本語学習者の「ほめ」の言語行動に見られるコミュニケーションの問題に注目して、ICレコーダで学習者と日本語母語話者との間の会話を録音した。学習者側はどのような意図で、どのように「ほめ」の言語行動を行っているのか、また、学習者の「ほめ」を、日本人がどのように受け止めるかを検討することで、「実質ほめ」の意図で行った「ほめ」を、「形式ほめ」やマイナス評価として解釈されることがあると述べた。そして、その要因は「文化規範」や「言語使用規範」などであると指摘した。

王（2016）は、実際の中国語と日本語の会話に基づき、調査票で中国語母語話者と日本語母語話者の「ほめ」の認識を調査した。その調査結果からは、中国語母語話者は、積極的に相手に関心や共感を表し、特に親しい間柄なら、二人の仲の良さを示すことで、相手によそよそしく感じさせないように、「配慮」を行っているのであるが、その一方、日本語母語話者は、ほめる際に、相手のフェイスを優先し、相手に心理的な負担をかけないように、消極的な「ほめ」を行っていることが分かった。つまり、中国語母語話者と日本語母語話者とは「相手のことを大事に思う」という配慮の気持ちは共通しているが、その背後にある「配慮」の仕方、すなわち、中国語母語話者では相手との距離をできるだけ縮めることが配慮となるが、日本語母語話者では相手に負担をかけないこと、つまり適切な距離を保つことが配慮となるという「配慮」の仕方、が異なっているため、「ほめ」の表現が異なってくることが明らかになった。

２．２　先行研究の問題点及び本稿の研究課題

このように、「ほめ」をめぐって数多くの研究が行われてきたが、以下のような問題点が残っている。先行の中日対照研究のほとんどは、ほめる側に重点を置かれ、ほめられる側がどのように解釈しているかが明らかになっていない。また、実際の中日接触場面では、相手の返答に対して、なぜ中国語母語話者と日本語母語話者の解釈にはずれが生じてしまうのか、という要因がまだ明確にされていない。

したがって、以上の先行研究を踏まえ、本稿は、中国語と日本語の談話における「ほめ」の返答を対照させることによって、中国語母語話者と日本語母語話者、それぞれの解釈で、いかなる点が類似しており、いかなる点が相違しているのかを明らかにした上で、「ほめ」への返答による中日間の摩擦や誤解を生じてしまう要因をまとめていきたいと考えている。

３．研究資料や本研究の実施概要

「ほめ」に関連する先行研究を踏まえ、本稿では日常生活の談話資料を中心として用いることにする。そのほか、テレビドラマから抜粋してきた会話例をいくつか使用している（テレビドラマ、映画の脚本を総称してシナリオと呼ぶ（大野2003a））。すなわち、日常生活で実際に見聞きした「ほめ」の談話を書き留めた「聞き書き」資料を用い、テレビドラマから抜粋した「ほめ」の会話例を補強し、分析することにした。

使用した「聞き書き」資料は、2014年度と2015年度に日常生活で友人の同意の上、正確にありのままを記録したものである。自然談話で実際に使われた話し言葉を分析対象とすることは、信頼性が高い点が長所であるが、場面が限られているため、本稿ではより多くの場面を取り上げる目的で、シナリオ資料と共に併用することにした。

調査票の言語について、本調査では日本語母語話者には日本語の調査票を、中国語母語話者には中国語の調査票を使用した。また、日本語の訳文については、できるだけ中国語の語句・語法に従って忠実に翻訳したものを使用した。同じく、中国語の訳文については、できるだけ日本語の語句・語法に従って忠実に翻訳したものを使用した。なお、直訳するとその意味が伝えられない場合にだけ、括弧をつけて簡単に説明し、意訳を行った。

調査場面については、Brown & Levinson（1987）に基づき、性別、相手との親疎関係による要因を考慮し、日本語４場面、中国語４場面を設定した。また、調査内容は協力者が日常生活で遭遇しやすく、連想しやすい実際的な場面を設定するようにした。相手との親疎関係が大きな要因であるが、「ほめ」が行われやすい場面に注目し、すべて親しい間柄を設定した。場面概要を以下表１に示す。

表１　アンケート調査の場面概要

場面	会話の相手	状況
1	中国語母語話者 男性同士	髪を切ったＡとＢが偶然に会った場面。
2	日本語母語話者 男性同士	ＡとＢが、花火会場で場所取りをしようとしている場面。
3	中国語母語話者 女性同士	ＡとＢが、彼氏のことについて話している場面。
4	日本語母語話者 女性同士	ＡはＢがプロポーズされたことを聞き、その後に、一緒にカフェに行く場面。
5	中国語母語話者 男性から女性をほめる	ＡとＢが、Ｂの彼氏のことについて、話している場面。
6	日本語母語話者 男性から女性をほめる	ＡとＢは幼馴染で、Ｂの妹のことについて話している場面。
7	中国語母語話者 女性から男性をほめる	ＡとＢは仲の良い友達同士で、ＢがＡの優しさについて話している場面。
8	日本語母語話者 女性から男性をほめる	ＡとＢは仲の良いクラスメート同士。サッカー練習で足の怪我をしたＡは、Ｂの優しさについて話している場面。

実施概要について、本調査は、2015年８月から９月にかけ、日本語母語話者33名、中国語母語話者34名、合計67名の方に協力してもらった。調査協力者の詳細は表２の通りである。

表２　調査協力者の詳細

調査協力者	中国語母語話者	日本語母語話者
人数	34名	33名
性別の内訳	女性19名、 男性15名	女性15名、 男性18名
年齢	20歳～67歳	18歳～69歳
調査方法	直接依頼、郵送	直接依頼、郵送
調査日時	2015年８月～９月	2015年８月～９月

調査の手順については、まず、協力者に調査の目的、趣旨を十分に理解してもらってから、アンケート調査を実施した。次に、調査票に協力者の性別、世代、職業を入力してもらい、その後、８場面の会話例を読んで、下線部（ほめを含める発話およびその回答）の会話の適切度を評価した上で、その理由について尋ねた。最後に、あなたがほめられる側の場合なら、どう言うかを記述してもらった。

４．調査結果と分析

４．１　調査結果と分析

分析方法については、まず、日本語と中国語それぞれの分布を確認するために、適切さの割合図を比べながら、両言語の類似点と各々の相違点をまとめた。なお、便宜のため、５段評価の中での「４適切」と「５非常に適切」をまとめて「適切」と表現することにする。同じく、「１不適切」と「２やや不適切」をまとめて「不適切」と表現することにする。下線を加えたのが「ほめ」および「ほめ」への返答の部分である。

以下、紙幅の関係で、３つの例を挙げて説明したい。

まず、中国語の例を詳しく分析する。

３、A（女）とB（女）は仲良い友達同士。彼氏のことについて、話している場面である。

A：**わあー。Bちゃんの彼氏いいね。優しいし。うちの彼氏はね、大雨でも迎えに来てくれないもん。**
B：**でしょ。超ラッキーと思う。出会えてよかった。あのね、ちょっと雨が降ったり、寒くなったりしたら、すぐ迎えに来てくれたり、コートを持ってきてくれるの。お昼になると、「どう？お腹すいてない？」とか聞いてくれる。週末はね、暇だなと思っていたら、「遊園地でも行かない」とメールをしてくれる。**
A：**羨ましい。**
B：あのね、生理の前はね、こっちイライラしても、彼も怒らない。夜中にね、食べたい好物を買ってくれた日、めちゃくちゃ感動しちゃってさ。もう泣きそうだった。前世で多分いいことをしたのかな、神様に感謝しなきゃ。超幸せ。
A：うん。幸せだね。
B：お互い様じゃん。Aちゃんの彼氏も優しいでしょう。
A：まあ。もうちょっと気を遣ってくれればね。（笑）

以下の図１は質問３に対する日本語と中国語の割合を示している。

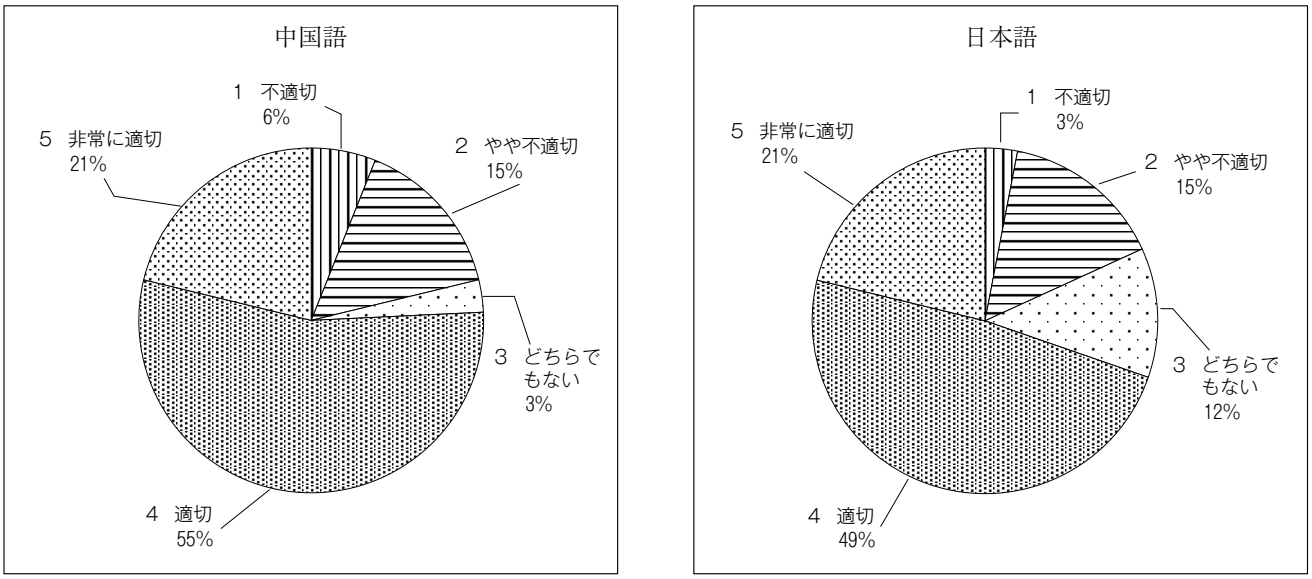


図１　質問３に対する中日対照

「適切」の方から見れば、日本語では33%に対して、中国語ではちょうど40%を占めており、日本語よりやや高い割合を占めている。一方、「不適切」の割合を見ると、日本語の方にやや多いことが分かった。両言語共に半数未満の割合で似通っている結果が見られた。その理由を詳しく比較してみよう。

質問３に対する日本語母語話者の女性と男性の理由と、中国語母語話者の女性と男性、それぞれの理由を以下のようにまとめた。

（C：Chinese native speaker 中国語母語話者　J：Japanese native speaker 日本語母語話者　M：Male 男性　F：Female 女性）

表３　質問３に対する日本語母語話者と中国語母語話者の理由の詳細

日本語母語話者

理由	女性の理由	男性の理由
適切の理由	・気持ちを素直に伝えていていいと思う。（FJ3） ・ＡもＢも自分自身ことをほめているわけではないので、適切な会話だと思う。自分の身内に近い彼氏のことをかなりほめているので、Ｂは彼氏と付き合い始めたばかりか、ものすごく惚れしている印象を受けた。（FJ5） ・仲良い友達なら、よくある会話だと思う。（FJ7） ・ＡとＢは仲良しなので、Ａの彼氏自慢はＢに受け入れられていると思われるので。（但し、もし仲良しでない間柄なら、あまり言わない方がよい。）（FJ11）	・たぶん女性同士ならこのような会話がありそう。（MJ11） ・「A:まあ。もうちょっと気を遣ってくれればね。ハハハ」（適切）あまり自分の彼氏の不満は他人に言わず、自分の心は泣いても、笑ってごまかす日本人特有の賢い表現ですね。（MJ12）
不適切の理由	・Ｂが自慢しすぎ、のろけすぎです。（FJ1、FJ10） ・Ｂさんは自己中心的な感じ。（FJ2） ・一見不適切に感じるが、２人が本当（内心）はお互いのことを好きでないなら、適切にも思える。（FJ9）	・仲良くても、彼氏を褒めすぎ。（MJ1） ・「前世で多分いいことをしたのかな」みたいなことを、多くの日本人女性は自分から言わないと思う。（MJ4） ・馬鹿な会話だとは思うがあり得ると思う。（MJ8） ・「B：お互い様じゃん。Ａちゃんの彼氏も優しいでしょう」（不適切）全然相手の事を考えていないですね。（MJ12）

中国語母語話者

理由	女性の理由	男性の理由
適切の理由	・自然と思う。よく同じことを言っています。（FC6、FC7、FC14） ・仲良く感じます。そうではない関係なら、謙遜的に言います。（FC17）	なし
不適切の理由	・彼氏は優しいかもしれませんが、ちょっとほめすぎと思われます。（FC1） ・具体なことはたくさん言わないと思う。相手のことに配慮をしなければならない。（FC2） ・ちょっと馬鹿にされているように聞こえる。（FC4） ・私には苦手です。（FC9） ・もうちょっとＡのことを配慮したほうがいいと思う。（FC15）	・自分が自分のことをほめるのがやや不適切と思います。（MC3） ・自分の彼氏をほめすぎて、友達のＡさんに合わせたほうがいいのではと思います。（MC4） ・相手への配慮はちょっと足りないと思う。私だったら、もっと相手のことに合わせる。（MC5、MC7） ・女性の友達同士の話し方はよくわからないですが、Ｂはほめすぎのではないかと思います。女性はよくやきもちをしたりするだから。（MC10） ・もっと謙遜したほうがいいと思う。（MC12） ・ちょっとおおげさと思う。（MC14）

「適切」の理由の詳細を見ると、表３に示しているように、日本語母語話者では「気持ちを素直に伝えていていいと思う（FJ3）」、「仲の良い友達なら、よくある会話だと思う（FJ7）」といった回答が多数見られた。中国語母語話者では「自然だと思う。よく同じことを言っている（FC6、FC7、FC14）」、「仲良く感じる。そうではない関係なら、謙遜的に言う（FC17）」という回答が共通して見られた。

一方、「不適切」の理由を見ると、日本語母語話者では「Ｂが自慢しすぎ、のろけすぎ（FJ1、FJ10）」、「Ｂさんは自己中心的な感じ（FJ2）」と類似しており、中国語母語話者では「具体的なことはたくさん言わないと思う。相手のことを配慮しなければならない（FC2）」、「相手への配慮はちょっと足りないと思う。私だったら、もっと相手のことに合わせる（MC5、MC7）」のような相手への配慮不足といった回答が見られた。

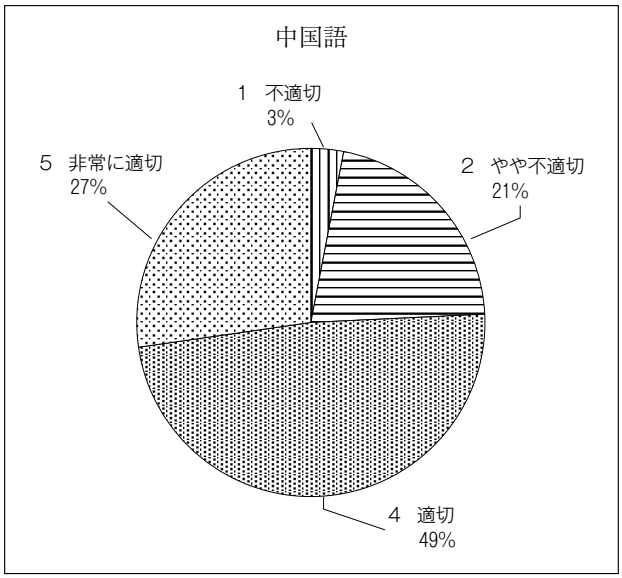
この結果から、日本語母語話者と中国語母語話者ともに類似している回答が現れたことが分かるが、注目したい点が、日本語母語話者においても中国語母語話者においても、男性と女性の認識には大きな差があるという点である。「全然相手のことを考えていない（MJ12）」、「もっと謙遜した方がいいと思う（MC10）」といったような日本語母語話者と中国語母語話者の男性と共通している回答が、女性でも見られたが、そのほか、「気持ちを素直に伝えていていいと思う（FJ3）」、「仲良い友達なら、よくある会話だと思う（FJ7）」、「自然だと思う。よく同じことを言っている（FC6、FC7、FC14）」と思っている男女も少なくない。このように、同じ文化背景に属して、同じ言語を使用していても、「ほめ」の表現と返答への認識にはジェンダーの差があることが窺えた。

もう１つの例を見てみよう。

７、Ａ（男）とＢ（女）は仲良い友達同士である。

Ｂ：今日はありがとうね。初めてインド料理を食べた。おいしかった。
Ａ：僕も。だから、インド行きたいと思ってる。
Ｂ：そうね。お疲れ様。**お仕事が忙しいのに、連れてってもらって、すみません。でも楽しかった。Ａ君は優しくて、気も利いてるね。ありがとう。**
Ａ：**そういうふうに言ってもらうと、（嬉しくて）眠れなくなる。**
Ｂ：本音だよ。じゃ、また今度もっと辛いのを食べようね。
Ａ：いいよ。

次に、以下の図２は質問に対する中国語と日本語の割合を示している。



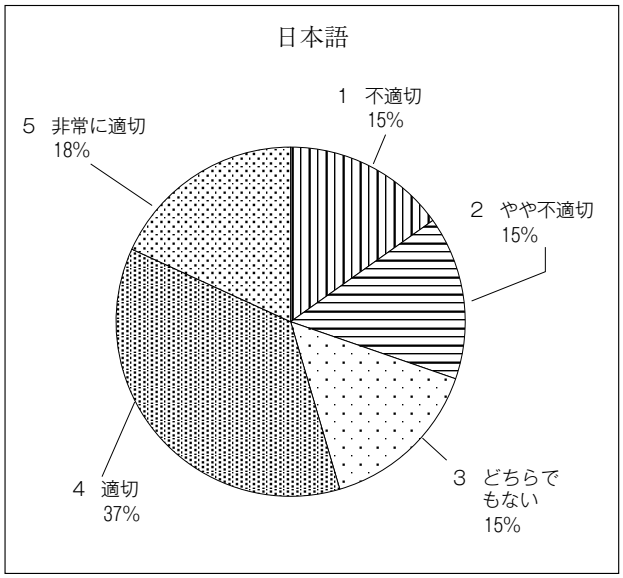


図２　質問７に対する中日対照

図２から日本語では「不適切」の割合は30％を占めており、「適切」の割合は55％を占めているのに対して、中国語では「不適切」が24％であるが、「適切」の割合（76％）が圧倒的に多いことが分かった。

次に、日本語母語話者と中国語母語話者の理由について比較を行う。

質問７に対する日本語母語話者の女性と男性の理由と中国語母語話者の女性と男性、それぞれの理由を以下のようにまとめた。

（C：Chinese native speaker 中国語母語話者　J：Japanese native speaker 日本語母語話者　M：Male 男性　F：Female 女性）

表４　質問７に対する日本語母語話者と中国語母語話者の理由の詳細

日本語母語話者

理由	女性の理由	男性の理由
適切の理由	・忙しいなか連れて行ってもらったことに感謝しているから。(FJ3) ・お互いに相手を考えて発言しているから。(FJ8) ・違和感が無い。(この２人はお互い好意を持っているように感じる。)(FJ9) ・気配りと感謝の気持ちがあり、とてもいいと思う。(FJ12)	・「眠れなくなる」は言い過ぎかもしれないが、感謝し合っていることはわかる。(MJ2) ・自然な会話（MJ3) ・比較的適切な表現だと思うが、「（嬉しくて）眠れなくなる。」という表現は、日本語ではあまりしないように思う。(MJ4)
不適切の理由	・「そういうふうに言ってもらうと、眠れなくなる。」は気持ち悪い。(FJ1) ・Ａがインド行きたいって言っているのに、聞いてない。(FJ2) ・付き合っているなら分かるが、友達同士なら言わない。誤解されやすい。(FJ4) ・「インドに行きたいと思ってる」をスルーしているから。(FJ7) ・Ａが大げさすぎる。(FJ13)	・Ｂの台詞が唐突すぎて嘘くさい。(MJ8) ・友達同士でお仕事の「お」は必要ない。(MJ14)

中国語母語話者

理由	女性の理由	男性の理由
適切の理由	・お互いに相手を考えて話して、心から感謝していることが窺える。Ｂさんも照れているから、非常に適切だと思う。(FC1) ・この二人の仲の良さが窺えるから、適切だと思う。(FC2) ・違和感は全くない。(FC6) ・冗談を言いながら、ユーモアのある会話だと思う。仲がいいことが分かる。(FC7) ・非常に自然で好感が持てる。仲の良さが窺える。(FC8) ・ありそうな会話で、適切だと思う。(FC10) ・「友達以上、恋人未満」のように思える。(FC11) ・普段、よく言っている。全く違和感はない。(FC14) ・Ａの言葉にＢが照れたことから仲の良い友達の感じがする。(FC17)	・こういうふうに言ったこともあるし、言われたこともある。非常に自然な会話だと思う。(MC3) ・よくある会話。Ａさんからのほめ言葉にはＢさんが少し照れを隠していることが分かる。(MC4) ・非常に自然で好感が持てる。違和感はない。(MC10) ・Ａさんは心から感謝していることが言えるから、自然な会話だと思う。(MC12) ・非常に自然な会話に聞こえる。よくできた会話である。(MC14)
不適切の理由	・ちょっと大げさではないかと思う。(FC9)	・曖昧すぎて、誤解されやすい。(MC1) ・どこから「Ａ君は優しくて、気も利いてるね。」と言えるのかが分からない。(MC2)

「適切」の理由について表４から、日本語では感謝の面から「適切」と捉えるのと類似して、中国語母語話者も「心から感謝していることが窺い知れる。Ｂさんも謙遜しているから、非常に適切と思います（FC1）」、「非常に自然で好感が持てる。仲の良さが窺える（FC2、FC8、FC17）」、「よくある話、全然違和感はない（FC6、FC10、FC14、MC3、MC10、MC12、MC14）」といった理由が共通して見られた。

「不適切」の理由について、中国語母語話者で見られた「ちょっと大げさ（FC9）」といった理由とは異なって、日本語母語話者では「「そういうふうに言ってもらうと、眠れなくなる」は気持ち悪い（FJ1）」、「Ａがインドに行きたいって言っているのに、聞いてない（FJ2、FJ7）」といった理由から不愉快、さらに嫌悪感を覚える人も多いことが分かった。

以上の結果から、「不適切」の割合の差はさほど大き

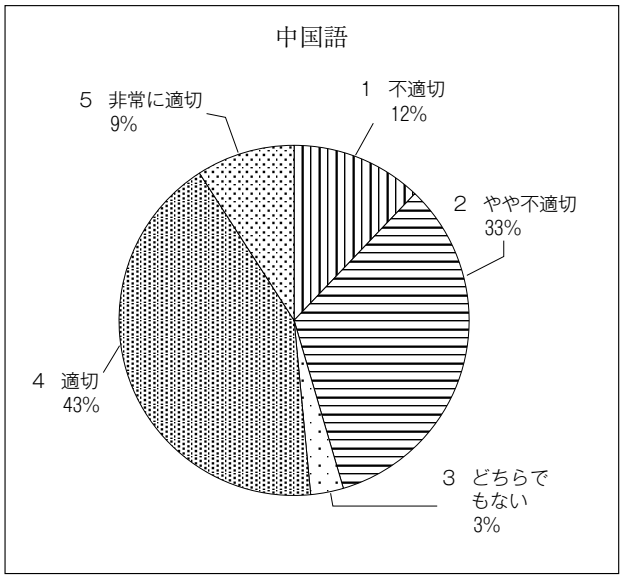
くなく見えるが、実際、日本語母語話者と中国語母語話者では、「適切」と思われる割合には大きな差があることが分かった。円滑なコミュニケーションをするため、相手からほめられても、配慮して返答するという点は多数の先行研究（山路2006、金2012など）で述べられているとおりだが、異文化間交流の現場では「配慮」の表現方法によって、「ほめ」への解釈が異なることがほとんど言及されていなかった。しかし、例７から分かるように、謙遜した気持ちで発話した中国語母語話者の言葉に対して、日本語母語話者から見れば、「気持ち悪い（FJ1）」、「話を聞いていない（FJ2、FJ7）」、「おおげさすぎる（FJ13）」、「唐突すぎて嘘くさい（MJ8）」といった解釈がしばしば見られたことから、このような中国語母語話者の「配慮」の表し方は、日本語母語話者には理解しがたいものであり、コミュニケーションの現場では不愉快や摩擦を生じさせる大きな要因の一つであると言えるだろう。

次に、日本語の会話を詳しく分析していきたい。

８、A（女）とB（男）は仲良いクラスメート同士。Bとのサッカーの練習で足の怪我をしたAが階段を上ろうとしている。

A：ああ。（階段を見上げて）
B：手、貸そうか。
A：ああ、ううん。大丈夫。
B：そう。やっぱ、手、貸そうか。
A：**あのさ、相原くんってさ、意外に優しいとこあるよね。**
B：**なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ。**
A：そんなつもりじゃないよ。ただ、足のこと、いろいろ気遣ってくれるから。
B：だって、その怪我、半分は俺のせいだし。
A：そんなことないって。

次に、以下の図３は質問８に対する中国語と日本語の割合を示している。



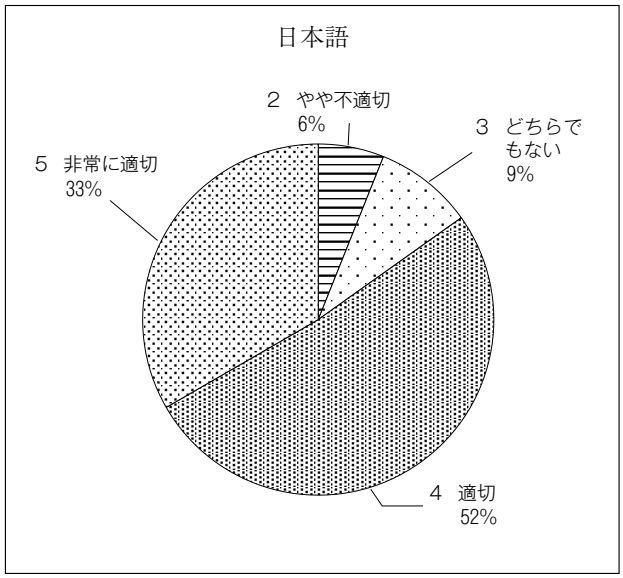


図３　質問８に対する中日対照

図３から日本語では圧倒的に「適切」（85%）が多いのに対して、中国語では「適切」(52%）の割合は約半分を占めていることが分かった。「不適切」の割合を見ると、日本語では「１非常に不適切」と回答した人がおらず、「２やや不適切」の割合はわずか6%である。その反面、中国語では45%を占めており、日本語の７倍以上多い結果が見られた。

質問８に対する日本語母語話者の女性と男性の理由と中国語母語話者の女性と男性、それぞれの理由を以下のようにまとめた。

（C：Chinese native speaker 中国語母語話者　J：Japanese native speaker 日本語母語話者　M：Male 男性　F：Female 女性）

表５　質問８に対する日本語母語話者と中国語母語話者の理由の詳細

日本語母語話者

理由	女性の理由	男性の理由
適切の理由	・友人同士なら適切。（FJ1） ・同じシチュエーションだったら、ほとんど同じことを言うと思う。（FJ5） ・少し照れている部分もあるが相手を思っていることが分かるから。（FJ8） ・自然な会話である。（FJ11） ・A の言葉に B が照れた感じが、自然で好印象。（FJ12）	・仲の良い友達という感じがある。（MJ1） ・特に違和感はない。照れ隠しを含んだ表現かなと思う。（MJ2） ・自然な会話。（MJ3） ・非常に自然で好感が持てる。（MJ8） ・特に違和感はない。（MJ9） ・よく出来た会話。（MJ11） ・何も問題は無い。（MJ13） ・自然な日本語の会話。（MJ14）
不適切の理由	・B が A の会話を聞いてない。（FJ2） ・「意外と」の言葉は、思っていても口に出さなくていいと思う。（FJ3） ・「そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ。」の言葉は言わない。（FJ10）	なし

中国語母語話者

理由	女性の理由	男性の理由
適切の理由	・褒められて、少し照れていることが分かる。だから、大げさな表現を使っているのだと思う。（FC1） ・B とのサッカー練習で足を怪我したのだし、友達だから、ありそうな会話である。（FC2） ・仲の良いクラスメートならそんな感じだと思う。（FC6） ・仲の良いクラスメートならよくある会話だと思う。（FC7） ・ユーモアかな。（FC8） ・自然な会話。（FC10） ・ありそうな会話。（FC14）	・仲がいいから、何を言ってもいいのではないか。（MC9） ・ユーモアのある会話である。（MC12）
不適切の理由	・仲良い友達なのに、「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という言葉は理解できない。（FC11） ・謙遜でもないから、ちょっとおかしいと思う。（FC12） ・B さんの発話意図が分からない。（FC15） ・「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という言葉は理解できない。そう言われたら、嬉しくないと思う。（FC17）	・B さんの言葉は理解できない。（MC1） ・やや不適切だと思う。（MC3） ・「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」は言い過ぎ。（MC4） ・「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という言葉は、さっぱり分からない。仲が良いので、ご飯を奢ってもいいと思う。けちだと思う。（MC10） ・「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という言葉は分かりません。私だったら、怪我したから、（栄養のある）おいしい飯奢るぞと言う。（MC11） ・「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という発言が、相手には大変失礼な言葉だと思う。これで仲が悪くなるかもしれないと思う。（MC14）

表５に示しているように、「適切」の理由を比べてみると、日本語母語話者では「同じシチュエーションだったら、ほとんど同じことを言うと思う（ＦＪ５）」、「Ａの言葉にＢが照れた感じが、自然で好印象（FJ8、FJ12、MJ2、MJ8）」といった理由が多く挙げられた。中国語母語話者の理由を見れば、女性から「ほめられると、少し照れていることが分かる。だから、大げさな表現を使っているのかなと思う（FC1）」、「仲の良いクラスメートならそんな感じだと思う（FC6、FC7）」といった理由で「適切」と認識していることが分かった。しかし、表５で注目すべき点は、「不適切」の理由である。少数の日本語母語話者の女性では「「意外と」の言葉は思っていても、口に出さなくていいと思う（FJ3）」といった理由で「不適切」と捉えられているが、日本語母語話者の男性では「不適切」の理由が見られなかった。それに対して、中国語母語話者の理由は、とりわけ、Ａから「意外と優しいとこあるよね」とほめられたＢが「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という言葉に対して、「理解できません。そう言われたら、嬉しくないと思う（FC17）」、「理解できない（FC11、MC2）」、「やや不適切（MC3）」、「謙遜でもないから、ちょっとおかしいと思う（FC12）」といった理解しがたいという理由から、「言い過ぎと思う（MC4）」、「さっぱり分からない。ご飯を奢ってもいいんじゃない、仲が良いのに。けちだと思う（MC10）」、「私だったら、怪我したから、（栄養のある）おいしい飯奢るぞと言う（MC11）」、「大変失礼な言葉だと思う。これで仲が悪くなるかもしれない（MC14）」といった理由から、中国語男性母語話者では、この表現に強い抵抗感が窺えたことが分かる。

このように、日本語母語話者では、このようなやりとりは、親しい友人同士ならよくあるやりとりであり、ほめられて「照れ」を隠しているということに理解を示しているのに対して、中国語母語話者にとっては、このような配慮の意図が理解できず、「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」のような言葉を使うことで、相手からけちと思われ、男としての面子がなくなると解釈していることが窺えた。つまり、日本語母語話者なら、この配慮の表し方を「照れ隠し含み」と解釈するところで、中国語母語話者の男性は「けちと思われたくない」、「面子がなくなる」と解釈していることが明らかになった。このような認識のずれが、人間関係に深刻な影響を及ぼす恐れもあると言えるだろう。

５．考察

５．１　「ほめ」の表現に見られる中日の相違

前節では、日本語母語話者と中国語母語話者の「ほめ」の談話における類似点と相違点を明らかにした。表現形式から見れば、日本語と中国語とは類似している点が多いと言われているが相違も見られた。しかし、それ以上に目立ったのは認識の相違であった。

したがって、本節では、「ほめ」による日中間の摩擦や誤解を生じてしまう要因を解明するために、ポライトネス理論、異文化間語用論の観点から「ほめ」による日中間の摩擦や誤解の可能性について考察していく。

国立国語研究所（2006）では、相手の対人的欲求、談話展開上の欲求などを「気づかい」、相手を立てようとする心配りのことを「配慮」としている。いかなる国・文化においても、より円滑な人間関係を構築するためには、相手のことを配慮することが必要である。例えば、日本語母語話者も中国語母語話者もほめられた場合、「ほめ」を同意して受け入れてしまうことから生じる自画自賛のリスクを回避するために、「謙遜」を示したり、「照れ」を示したりすることで、「配慮」の気持ちを表している。

日本語と中国語の「ほめ」の談話から見られたように、「配慮」が両言語においては重要な要素であるのは明らかだが、文化的価値観、社会的立場など様々な要因が影響しているため、ほめる側とほめられる側は互いに相手の「配慮」をどのように受け入れるかが異なっており、日本と中国の異文化間コミュニケーションにおいては誤解のもとになることがあると言える。山路（2006）は、ほめる側の意図とほめられる側の解釈が必ずしも一致するとは限らないと述べており、特に異文化間においては問題になりやすいと言える。調査の分析結果から判明したように、「ほめ」の表現や返答の見られた「配慮」に対して、日本語母語話者と中国語母語話者の間には明らかな違いが現れた。

以下、「ほめ」の返答に見られる「配慮」の差異を検討していきたい。

まず、中国語母語話者が行っている「配慮」に対して、日本語母語話者はどのように捉えているのかを考察する。

<「ほめ」の返答に見られる「配慮」の差異・中国語母語話者の場合>

７、A（男）とB（女）は仲良い友達同士である。

B：今日はありがとうね。初めてインド料理を食べた。おいしかった。
A：僕も。だから、インド行きたいと思ってる。
B：そうね。お疲れ様。**お仕事が忙しいのに、連れてってもらって、すみません。でも楽しかった。A君は優しくて、気も利いてるね。ありがとう。**
A：**そういうふうに言ってもらうと、（嬉しくて）眠れなくなる。**
B：本音だよ。じゃ、また今度もっと辛いのを食べようね。
A：いいよ。

これは、一緒に食事をした友人のBにお礼を言われ、さらに、「優しい」、「気が利く」人間だとほめられたAは「そういうふうに言ってもらうと、（嬉しくて）眠れなくなる」と返答した会話である。図２に示されたように、Aのこの返答に対して、76％の中国語母語話者は「適切」と回答し、「お互いに相手を考えて話して、心から感謝していることが窺い知れる（FC1）」、「よくある会話。Aさんからのほめ言葉にはBさんが少し照れを隠していることが分かる（MC4）」、「非常に自然で好感が持てる。違和感はない（MC10）」といった理由が挙げられた。一方、日本語母語話者では、55％の人が「適切」と回答しているが、それ以上に「不適切」とした回答者の理由が中日の相違を明らかにしている。例えば、「「そういうふうに言ってもらうと、眠れなくなる」は気持ち悪い（FJ1）」、「Bの台詞が唐突すぎて嘘くさい（MJ8）」、「Aがインド行きたいって言っているのに、聞いてない（FJ2）」、「Aがおおげさすぎる（FJ13）」といった理由が挙げられた。なぜこのような顕著な差異が出たのかというと、この中国語母語話者の表現は「照れ」を隠すためのものであるが、中国語母語話者のこの「照れ」を隠している気持ちは日本語母語話者には伝わらなかったためと考えられる。

会話７から、中国語の「ほめ」談話に見られた中国語母語話者の「謙遜」という「配慮」が日本語母語話者には理解しがたいものであることが分かった。

次に、日本語母語話者が行っている「配慮」に対して、中国語母語話者はどのように捉えているのかを考察する。

このような認識の差異は会話８でも見られた。

８、A（女）とB（男）は仲良いクラスメート同士。BとのサッカーA練習で足の怪我をしたAは階段を上ろうとしている。

A：ああ。（階段を見上げて）
B：手、貸そうか。
A：ああ、ううん。大丈夫。
B：そう。やっぱ、手、貸そうか。
A：**あのさ、相原くんってさ、意外に優しいとこあるよね。**
B：**なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ。**
A：そんなつもりじゃないよ。ただ、足のこと、いろいろ気遣ってくれるから。
B：だって、その怪我、半分は俺のせいだし。
A：そんなことないって。

会話８については85％の日本語母語話者は「適切」と考えるのに対し、中国語母語話者では52％しか適切とは考えていなかった。また、その理由の詳細を見ると、明確な相違があることが分かった。例えば、日本語母語話者では「少し照れている部分もあるが相手を思っていることが分かるから（FJ8）」、「Aの言葉にBが照れた感じが、自然で好印象（FJ12）」、「非常に自然で好感がもてる（MJ8）」といった理由が挙げられていた。中国語母語話者の女性では数は少ないものの同様の理由が見られたが、その他の回答では「なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ」という返答に対して、「仲が良い友達なのに、理解できない（FC11）」、「（Bの言葉が）謙遜でもないから、ちょっとおかしいと思う（FC12）」、「理解できない。そう言われたら、嬉しくないと思う（FC17）」といった理由が多く挙げられた。さらに、中国語母語話者の男性では「言い過ぎだと思う（MC4）」、「さっぱり分からない。仲が良いので、ご飯を奢ってもいいと思う。けちだと思う（MC10）」、「私だったら、怪我したから、（栄養のある）美味しいご飯奢るぞと言う（MC11）」、「相手には大変失礼な言葉だと思う。これで仲が悪くなるかもしれない」といった理由が多数見られた。以上の結果から、中国語母語話者は日本語母語話者の「配慮」を「照れ」と解釈できず、誤解をしていることが明らかになった。

山路（2006：90）は、「照れ」は肯定的評価の明示的な表現を避ける大きな要因となっており、聞き手に理解されなければ、攻撃的意図として解釈される恐れがあると述べている。「非常に自然で好感を持っている」はずなのに、なぜ中国語母語話者は、日本語母語話者の「配慮」を「照れ」と「理解できない」かについては、「照れ」への理解不足があるだろうが、それ以外に、もう一つ触れておきたいのが面子に対する認識の相違である。

両国では、会話のやりとりの中で、相手の面子を立て、潰さないように努力する点では共通点が見られる。しかし、面子という概念についての理解は、日本語母語話者と中国語母語話者とでは大いに異なっていると思われる。具体的に中国語母語話者は性別、年齢、社会地位、職業等によって様々な面子を持っており、しかも、その面子に強いこだわりを持っていると考えられ、この点は例８で挙げられた中国語母語話者の挙げた理由からも分かるように、中国語母語話者の男性なら、男性としての面子があると考えている。例えば、男性なら「器が大きい」、「力強い」、「弱い者を守るべき」といった面子を持っていて、専門家なら、専門知識が分かるという面子を持っているというわけである。実際のコミュニケーションの場では、何も言わないのではなく、相手の面子を立てながら、気持ちを伝えていくのが礼儀である。この点に関して、日本と中国では大きな違いがある。そのことを理解しなければ、相手に面子を潰されたと感じ、深刻な問題になってしまう恐れがあるだろう。それゆえ、「なんで。いきなり。気持ちわるいな」のような返答をすると、相手に「けち」、「器が小さい」と思われ、面子を潰してしまう恐れがあるため、「不適切」と判断したのである。

５．２　まとめ

本稿は、中国語母語話者と日本語母語話者の「ほめ」および「ほめ」への返答への理解の相違を提示し、その相違がどのような認識の相違から起こるものであるかを示したものである。日本語母語話者も中国語母語話者もともに相手との関わりを大事に思っているのは同様であるが、その気持ちの表し方が異なるために誤解に繋がっていることが多々あることが分かった。この誤解の多くは、基本的な気持ちの部分ではなく、「ほめ」および「ほめ」への返答、また「謙遜」の表し方、「照れ」の表し方、面子への認識の差異、すなわち、「配慮」の表し方の違いから生じたものであることが明らかになった。したがって、日本語母語話者と中国語母語話者と接触する場面では、相手への「配慮」の表現方法を理解しておけば、より円滑なコミュニケーションができ、さらに良好な人間関係を構築することができるであろう。

６．おわりに

本稿の反省でもあるが、今後は「ほめ」の対象ごと（聞き手に属する物やこと等）に見る中国語と日本語の類似点や相違点を考察したい。また、松村（2011：229）は、「語用論的知識を教育の中で効率的に指導するためには、文レベルの言語形式、談話のディスコース形式や内容の順序を提示すると言った形式中心の内容に留まらず、学習者が日本語を用いることにより、学習する言語文化では言語行動の背後にどのような価値観があるのかを知らせ、母語の背景にある文化と社会に関する知識とともに、より柔軟性のある多元的な視点を持って、談話を介して文化・社会への参入ができるような教室活動を展開していくべきであろう」と指摘した。

したがって、今後は、本稿の調査結果を日本語教育だけでなく、中国語教育の現場でどう生かしていけるかを検証したい。そして、理論と教育の連携によって、異文化理解教育法を提案することが大きな課題だと考えられる。

参考文献

Penelope Brown, Stephen C. Levinson.1987. *Politeness: Some Universals in Language Usage*. Cambridge: Cambridge University Press.

山路奈保子（2006）「文学作品を利用した異文化理解教育－「ほめ」とその周辺の言語行動を中心に－」九州大学大学院比較社会文化学府博士論文

増田奈央（2009）「教師のほめに対する学生の返答の日中対照研究」『日本言語文化研究』13：106-121，立命館大学

楊一林（2012）「中国社会における「ほめ」文化の変容－文化資源学の観点から－」『金沢大学文化資源学研究』4：120-126

袁帥（2012）「日中接触場面における『ほめ』－中国人日本語学習者の「ほめ」の言語行動と言語問題を中心に－」『外来性に関わる通時性と共時性接触場面の言語管理研究』10：107-122

王欣（2016）「日本語と中国語の談話における「ほめ」の対照研究－「ほめ」の表現に見られる配慮を中心に－」『大連大学第七回中日韓日本言語文化研究国際フォーラム論文集』

大野敬代（2003a）「「形式ほめ」の条件について：シナリオ談話における先行要素の調査から」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』11：179-188

金庚芬（2012）『日本語と韓国語の「ほめ」に関する対照研究』ひつじ研究叢書（言語編）99　ひつじ書房

国立国語研究所（2006）『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版

松村瑞子・因京子（2011）『談話分析に基づく日本語ポライトネス指導教材開発－平成20年度～22年度科学研究費補助金研究成果報告書－』

＜引用作品リスト＞

『ラッキーセブン』

『ラッキーセブン』は、2012年１月16日から３月19日まで、フジテレビ系の「月９」枠で放送された松本潤主演のテレビドラマである。

監督：佐藤信介ほか
脚本：早船歌江子、野木亜紀子ほか
放送局：フジテレビ
放送期間：2012年１月16日から３月19日
話数：全10話とスペシャル

『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』TV版

『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』は、伏見つかさによる同名のライトノベルを原作とした日本のテレビアニメ作品である。

原作：伏見つかさ
監督：神戸洋行
脚本：倉田英之、伏見つかさ
放送局：TOKYO MX等
放送期間：2010年10月３日-12月19日
話数：全13話

『キミキス』(Kimikiss)

『キミキス』（Kimikiss）は、2006年にエンターブレインから発売された、PlayStation２用恋愛シミュレーションゲームソフトである。インターネットラジオ番組を皮切に、テレビアニメ化も行われた。

原作：エンターブレイン
監督：カサヰケンイチ
放送局：チバテレビ
放送期間：2007年10月 - 2008年３月
話数：全25話（TV放送：全24話）

付　録１

アンケート調査票

日本語母語話者と中国語母語話者の「ほめ」の仕方

九州大学地球社会統合科学府
修士２年　王欣（オウシン）
メールアドレス：wangsinn1@yahoo.co.jp

当アンケートは、修士論文作成のための調査として行うものです。

ご回答の内容は、日本語と中国語の「ほめ」談話の対照研究をするために、重要な参考資料にさせていただきます。アンケート結果はすべて統計的に処理され、卒業論文以外には使用いたしません。

お手数をおかけして恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。ご協力に深くお礼を申し上げます。

年齢：＿＿＿歳　　性別：男・女　　職業：＿＿＿＿＿

１．Ａ（男）とＢ（男）は仲良い友達同士である。髪を切ったＡがＢに偶然に会った場面である。

Ｂ：髪切った？
Ａ：うん。どうだ？
Ｂ：かっこいいよ。高かっただろう。さすが金持ち。私たち貧乏人とは違うんだね。
Ａ：そんなことないよ。
Ｂ：最近、彼女とうまくいってる？
Ａ：まあまあ。毎日愛妻弁当を食べ過ぎて、太ったよ！
Ｂ：へえ、羨ましい。優しいし、料理も上手。いま、ご飯を作れる女の子が少ないから。
Ａ：でしょう。小さい頃から、ずっとお母さんの手伝いをしてて、本当に上手なんだよ。なんでも作れる。

B：彼女には妹さんいない？可愛いなら。紹介してくれない？
A：無理無理。姉妹なんていないから（笑）。
① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）
1 不適切　2 やや不適切　3 どちらでもない　4 適切　5 非常に適切
その理由を聞かせてください。

_____

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

_____

2．A（男）とB（男）は仲良い友達である。花火会場で場所取りをしようとしている場面である。
A：ここにしよう。
B：オッケー。
A：何か場所取りできるものある？
B：はい、これ。（レジャーシートを広げる）
A：**お、さすが。準備がいいね。**
B：それから、これ。（冷たいビールとティッシュを取り出して、渡す）
A：**すげえ。たいしたもんじゃん。**
B：**いやいや。**
① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）
1 不適切　2 やや不適切　3 どちらでもない　4 適切　5 非常に適切
その理由を聞かせてください。

_____

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

_____

3．A（女）とB（女）は仲良い友達同士。彼氏のことについて、話している場面である。
A：**わあー。Bちゃんの彼氏いいね。優しいし。うちの彼氏はね、大雨でも迎えに来てくれないもん。**
B：**でしょ。超ラッキーと思う。出会えてよかった。あのね、ちょっと雨が降ったり、寒くなったりしたら、すぐ迎えに来てくれたり、コートを持ってきてくれるの。お昼になると、「どう？お腹すいてない？」とか聞いてくれる。週末はね、暇だなと思っていたら、「遊園地でも行かない」とメールをしてくれる。**
A：**羨ましい。**
B：あのね、生理の前はね、こっちイライラしても、彼も怒らない。夜中にね、食べたい好物を買ってくれた日、めちゃくちゃ感動しちゃってさ。もう泣きそうだった。前世で多分いいことをしたのかな、神様に感謝しなきゃ。超幸せ。
A：うん。幸せだね。
B：お互い様じゃん。Aちゃんの彼氏も優しいでしょう。
A：まあ。もうちょっと気を遣ってくれればね。（笑）
① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）
1 不適切　2 やや不適切　3 どちらでもない　4 適切　5 非常に適切
その理由を聞かせてください。

_____

② あなたの場合だったら、どう言いますか。

_____

4．A（女）はB（女）の上司である。Bがプロポーズされたことを聞いてから、一緒にカフェに行った場面である。

A：Bちゃん、プロポーズされたんだっけ？

B：ハハハ。そうなんですよ。私、結婚しちゃおうと思ってるんですよ。

A：いいじゃない。

B：**通信会社に勤めてて、頭も良くて、優しくて、もう最高の旦那じゃないですか。**

A：**おめでとう。Bちゃんがそう決めたのなら、応援する。**

B：ありがとうございます。（少し沈黙）**Aさんは本当に何しても崩れないですよね。**

A：**へー、人を怪物みたいに言わないでくれる？**

B：**いやいや、いやいや、言っていませんよ。**

① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）

1 不適切　　2 やや不適切　　3 どちらでもない　　4 適切　　5 非常に適切

その理由を聞かせてください。

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

5．A（男）とB（女）は仲良い友達同士である。

A：**長所ありすぎだよ。Bちゃんの彼氏が羨ましい。**

B：**いや。そんなことないよ。誰でも、長所も短所もあるよ。**

A：彼のこと心配しちゃうな。

B：えっ。

A：**ラッキーだね。彼は。棚から牡丹餅じゃない、こんな素敵な彼女ができて。宝くじ当てたみたい。**

B：**いやいや。Aさんも素敵な彼女できるわよ。**

① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）

1 不適切　　2 やや不適切　　3 どちらでもない　　4 適切　　5 非常に適切

その理由を聞かせてください。

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

6．A（女）とB（男）は幼馴染である。C（女）はBの妹である。

A：Cちゃん、朝練やってるんだ。

B：できすぎた妹がいると、風当たりがきついよ。

A：勉強もできるし、きれいになってるんだよね。商店街でも噂だよ。

B：町内レベルで肩身が狭いな。こっちは静かに生きてるだけなのに。**人間普通が一番だ。凡庸平凡、その他大勢。そういう意味じゃ、お前は完璧だな。**

A：**あっ。**

B：**ミス普通コンテストがあったら、ダントツで優勝だ。普通クイーンだな。**

A：そう。照れちゃうなあ、ハハハ、ハハハ。

B：いや、照れるとこじゃないし。

① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）

1 不適切　　2 やや不適切　　3 どちらでもない　　4 適切　　5 非常に適切

その理由を聞かせてください。

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

7．A（男）とB（女）は仲良い友達同士である。

B：今日はありがとうね。初めてインド料理を食べた。おいしかった。

A：僕も。だから、インド行きたいと思ってる。

B：そうね。お疲れ様。**お仕事が忙しいのに、連れてってもらって、すみません。でも楽しかった。A君は優しくて、気も利いてるね。ありがとう。**

A：そういうふうに言ってもらうと、（嬉しくて）眠れなくなる。

B：本音だよ。じゃ、また今度もっと辛いのを食べようね。

A：いいよ。

① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）

1 不適切　2 やや不適切　3 どちらでもない　4 適切　5 非常に適切

その理由を聞かせてください。

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

8．A（女）とB（男）は仲良いクラスメート同士。Bとのサッカー練習で足の怪我をしたAは階段を上ろうとしている。

A：ああ。（階段を見上げて）

B：手、貸そうか。

A：ああ、うんん。大丈夫。

B：そう。やっぱ、手、貸そうか。

A：**あのさ、相原くんってさ、意外に優しいとこあるよね。**

B：**なんで。いきなり。気持ちわるいな。そんなこと言ったって、何も奢らねえぞ。**

A：そんなつもりじゃないよ。ただ、足のこと、いろいろ気遣ってくれるから。

B：だって、その怪我、半分は俺のせいだし。

A：そんなことないって。

① 下線部分の会話の適切度を評価してください。（　　）

1 不適切　2 やや不適切　3 どちらでもない　4 適切　5 非常に適切

その理由を聞かせてください。

② もしあなたがBだったら、どう言いますか。

ご協力ありがとうございました！

付　録２

中国人和日本人的夸奖方式

九州大学地球统合科学府
硕士２年级　王欣
邮箱：wangsinn1@yahoo.co.jp

感谢您能在百忙之中填写本次调查问卷！您的数据对我们的研究非常重要。
谢谢您的配合！

生活中我们经常遇到“夸人”或者“自夸”的情形。您对“夸奖”有着怎样的认识呢。
此问卷只用于学术研究，绝不对外公开。且答案没有对错之分，所以请写出您的真实想法。
如果您填写的是电子版调查问卷，请您点击填写格即可输入。

请填写您的年龄，性别和职业。 年龄：_____年龄　　性别：男・女　　职业：_____

１．Ａ（男）和Ｂ（男）是好朋友。Ａ刚刚剪完头发，遇到了Ｂ。
Ｂ：新剪得头发啊。
Ａ：是啊，怎么样。
Ｂ：**帅！一看就是花大价钱剪得，土豪有钱啊，剪头发都和我们普通人不一样。**
Ａ：**哪里哪里。**
Ｂ：最近你和女朋友怎么样。
Ａ：挺好的，天天给我做好吃的，都胖了。
Ｂ：**真羡慕你啊，女朋友人又好，又会做菜，现状会做菜的女孩子可不多了。**
Ａ：**那可不，我女朋友从小就会做菜，厨艺真的没的说，什么菜都会做。**
Ｂ：问问你女朋友，她周围有没有姐妹也会做菜长得还漂亮的，给我介绍介绍。
Ａ：不用想了，只此一家，再无第二个，绝版。
① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）
１，特别不自然　　２，有点不自然　　３，说不好　　４，自然　　５，特别自然
请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

２．Ａ（男）和Ｂ（男）是好朋友。到了看烟花的地方以后准备占座。
Ａ：就这儿吧。
Ｂ：OK。
Ａ：你拿什么占地儿用的东西了吗？
Ｂ：拿了。给。（递给Ａ一个垫子）
Ａ：**哎呀，不错呀。有备而来呀。**
Ｂ：还有，这个。（拿出几罐冰啤）
Ａ：**厉害。挺周全的啊。**
Ｂ：**哪儿有。**
① 您觉得划线部分的会话自然吗（　　）

1，特别不自然　2，有点不自然　3，说不好　4，自然　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

3．A（女）和B（女）是好朋友。

A：**你男票真好！真细心。不像我家那位，外面下着大暴雨都不知道去接我。**

B：**是吧。我也觉得自己超幸运，能碰到他。我跟你说，找男朋友就得找我家这样的。刮风下雨给你送衣服，一到吃饭的时候就问你饿了没，吃饭了没，周末怕你无聊问你想去哪儿玩。**

A：**真羡慕你。**

B：我跟你说，大姨妈来之前，跟他发脾气，他也不生气。大半夜他跑去给我买我想吃的，当时我眼泪都快下来了。我就觉得，我是不是上辈子做了什么好事，老天爷才把他派到我身边。我现在每天都觉得超幸福。

A：嗯嗯，你真幸福。

B：你不也是嘛。他对你多好啊，脾气也好。

A：就是没啥眼力价儿。哈哈。

① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）

1，特别不自然　2，有点不自然　3，说不好　4，自然　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

4．A（女）是B（女）的老板。A知道有人向B求婚了。她们一起吃饭的时候说了下面的话。

A：他向你求婚了？

B：嗯。我还在想要不要结婚呢。

A：他不挺好的嘛。

B：**是挺好。在通讯社上班，又聪明，又温柔。做老公的不二人选。**

A：**那恭喜你啦。你决定好了就行，我站在你这边。**

B：谢谢。（沉默片刻）**B姐，你怎么干什么都那么厉害。**

A：**哪有。别把人说的跟怪物似的好不好。**

B：**没，我可没那么说。**

① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）

1，特别不自然　2，有点不自然　3，说不好　4，自然　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

5．A（男）和B（女）是好朋友。

A：**你优点咋那么多呢。我都羡慕你男票羡慕的不行了。**

B：**呃，哪有。人的优点和缺点一样多。**

A：真担心你男票。

B：呃。

A：**走了这么大的运，有你这个女朋友，天上掉馅饼啊。跟中了彩票似的。**

B：**没有。你以后也能找到一个很好的女朋友的。**

① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）

1，特别不自然　　2，有点不自然　　3，说不好　　4，自然　　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

6．A（女）和B（男）是从小一起长大的好朋友。C（女）是B的妹妹。

A：小C去跑早操了呀。

B：有个全能的妹妹，真要命。

A：学习也好，而且越来越漂亮。街上大家都知道她。

B：我本想只想安安静静的生活。这下倒好。**人啊，普普通通的最好。平平凡凡。这样的人最多。这么看来，像你这样就很完美。**

A：**嗯？**

B：**如果有“普通小姐”选拔的话，你肯定能的第一。现在好像流行说王后。**

A：是吗？说的我挺不好意思的。哈哈。

B：真的，不用不好意思。

① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）

1，特别不自然　　2，有点不自然　　3，说不好　　4，自然　　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

7．A（女）和B（男）是好朋友。

A：今天谢谢你，我第一次吃印度菜哎，还挺好吃的。

B：我也是，所以特别想去印度。

A：是呢。不过，辛苦你了。**你工作那么忙，还能带我去，好开心。而且温柔又体贴，谢谢。**

B：**你再夸我，我就睡不着觉了。**

A：**实话。那下次我们尝一尝更辣一点的吧。**

B：好啊。

① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）

1，特别不自然　　2，有点不自然　　3，说不好　　4，自然　　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

8．A（女）和B（男）是一个班关系比较好的同学。和B练习踢足球的时候，A的脚受伤了。她看着高高的楼梯不知道怎么办。

A：啊。（看着楼梯）

B：要我帮你吗？

A：啊，不用了。没事。

B：算了，我还是掺着你吧。

A：**哎，没想到你还有这么温柔的一面。**

B：**怎么突然这么说，好恶心。你这么夸我，我也不请你吃饭啊。**

A：我没那么想。不过，因为脚受伤不能走，你帮我这帮我那的。

B：那是因为有一半是我的责任。

A：没有的事。

① 您觉得划线部分的会话自然吗？（　　）

1，特别不自然　2，有点不自然　3，说不好　4，自然　5，特别自然

请说说您的理由。

_____

② 如果是您，您会怎么说。

_____

再次感谢您的配合！

Research on Responses to Compliments in Chinese and Japanese

XIN WANG

This research analyzes everyday speech to help better understand how people respond to compliment actions in Chinese and Japanese. A total of eight easy to understand encounters from common scenarios that appear in TV series were used for the data. 34 Chinese and 33 Japanese individuals were then surveyed.

The results reveal that both individuals with Japanese and Chinese as their mother tongue greatly value their relationship with the other party, but differences in their respective means of expressing feelings can sometimes lead to misunderstandings.

It is evident that most misunderstandings are not born out of existing, underlying feelings, but often from incorrectly interpreting acts of consideration, specifically compliments, responses to praise, attempts to show humility, and shyness. Therefore, in situations when Japanese native speakers interact with their Chinese counterparts, an ability to understand how consideration is expressed by the other side will ensure smoother communication and ultimately the construction of better human relationships.